

「地域とともにあゆむ学校づくり」をめざして

下関市立吉見小学校

学校運営協議会について

①実施回数

年4回開催

②主な協議内容

- ・令和元年度の活動計画（第1回）
- ・1学期の取組と学校評価アンケートについて（第2回）
- ・授業参観および2学期の取組について（第3回）
- ・学校評価アンケートと令和2年度の学校運営方針について（第4回）

③コーディネーターの活動

- ・学校運営協議会開催の前に、CS会長、校長、教頭と打合せをしている。
- ・議題に関係する担当者と事前に打合せを行っている。
- ・学校支援活動を実施するため、学校の担当者と打合せをしたり、支援者との連絡調整をしたりしている。
- ・学校支援活動を実施する際には、参加者への連絡や道具の準備、後片付けを行っている。
- ・学校の要望により、学校支援ボランティアの募集をしている。

特色ある活動

吉見小学校のコミュニティ・スクールの取組は

- ①読書ボランティア ②芋植え・芋掘り体験 ③田植え・稲刈り・餅つき体験
④しめ縄づくり体験 の4つであるが、今回はしめ縄づくり体験の活動について紹介する。

「しめ縄づくり体験」は数年前より続いており、現在はCSコーディネーターが中心となり、地域人材を活用した活動となっている。昨年度は中学年の子ども（3年生）を対象とし教育課程に位置づけた学習として実施したが、本年度は、2学期の個人懇談を行う時間帯に5・6年生の希望者30名を対象として行った。指導者として地域より14名の方に



来ていただいた。また、水産大学校の学生もボランティアとして参加した。わらやウラジロ、杠など材料の準備や運搬などをお願いすることができ、高学年の児童にとっては放課後の有意義な時間となった。今年度は、個人懇談の時間帯ということで担任が参加し子どもと一緒に地域の方とふれあうことができなかつたが、教育課程外ということもあり自由な活動を仕組むことができた。

来年度に向けて

コーディネーターが中心となり、地域のまちづくり協議会の協力を仰ぎながら多くのボランティアの方に来ていただくことができた。今後は本校の特色ある活動として取り組む学年を固定し、継続していきたいと考えている。そして、コミュニティ・スクールとしての取組をさらに周知することで活動の充実を図りたい。

地域の学校「吉母小」

～学校は地域のために、地域は学校のために～

下関市立吉母小学校

学校運営協議会について

- ・本年度の学校経営方針の説明と活動計画について(1学期)
- ・学校行事・活動内容について(2学期)
- ・本年度反省・来年度学校経営方針について(3学期)
- ・学力向上・授業力向上について(ユニット型研修会:年2回)
- ・吉見地区ふるさと協育ネット会議(兼小中合同学校運営協議会)



学校運営協議会委員授業参観

特色ある活動

◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

- ・北九州市立合馬小学校との“山の子と海の子の交流”「たけのこ出迎え式」「海水浴交歓会」は今年度60周年を迎え、親子3代にわたる地域あげでの伝統交流行事となっています。今年度は合馬から届いた竹材で竹灯籠を作り、合馬小の作品とともに10月に行われた“合馬竹灯籠まつり”に出品させていただきました。
- ・自治連合会・長寿会・漁協等地域団体と協力し、吉母の宝である黒嶋海岸の清掃を行っています。きれいになった海岸に、地域の方が育ててくださった浜木綿の苗を、毎年みんなで植栽しています。



たけのこ出迎え式



海水浴交歓会での地引網漁

◆ ふるさとの“名人”に学ぶ

- ・毎年6月に吉母の砂浜で集めた貝殻を使った「貝殻アート」について教えていただきながら、地域の皆さんと合馬小学校へのプレゼントづくりを行っています。
- ・12月には地域在住の竹細工名人をはじめ長寿会・萌え気会の方々をゲストティーチャーに招き、「ミニ門松づくり」「ふれあいしめ飾りづくり」を行っています。材料も地域の皆さんが地元でとれたものを準備してくださいます。
- ・1月、本校PTA会長でもある地元書道家の指導のもと行われる「ジャンボ書初め大会」は今年で5年目になり、吉母の風物詩になっています。今年の一文字は「挑」。児童全員が今年挑みたい抱負を書き添え、地域の皆さんと手形をスタンプして素晴らしい作品ができあがりました。1年間体育館に掲示されます。



黒嶋海岸 浜木綿植栽



貝殻アート



ミニ門松づくり

来年度に向けて

来年度も引き続き吉母のすばらしい自然、地域人材、極小規模校の特性を生かしながら、学校・家庭・地域が一体となった様々な行事や活動を行うことで、「地域に開かれた学校づくり」とともに「地域の活性化」を図っていきます。



ジャンボ書初め大会



しめ飾りづくり

「地域と育むたくましい蓋井っ子の育成」をめざして

下関市立蓋井小学校

学校運営協議会について

学校運営協議会	主な内容
第1回学校運営協議会	(1) 平成31年度「学校運営方針」について (2) 平成31年度「学校行事年間計画」について
第2回学校運営協議会	(1) 本年度の教育活動について ・全国学力・学習状況調査について ・山口県学力定着状況確認問題について (2) 今後の学校行事について (3) 熟議 進行 蓋井小学校推進リーダー ＜学力部会＞＜心の部会＞
第3回学校運営協議会	(1) 学校評価アンケートの結果の説明、分析、評価、承認 (2) 本年度の主要行事を振り返って (3) 次年度学校運営方針（案）の説明・承認 (4) 次年度行事予定（案）について

特色ある活動

◆ 熟議の実施

＜学力部会＞

テーマ

中学校への進学に向け、「子どもの話す・書く・読む力を伸ばす」ために、学校・家庭・地域ができることは。

課題

決められたことを話す力に比べて、自分で話すことを考えて伝える力については未熟な部分が見られる。

新たな取組案

『あいさつ+ひと言運動』の実施。あいさつはとてもよくできているので、さらに「伝える力の向上」に向け、地域の方にその日の出来事などを短い言葉で毎日話しかけることを推進する。また、学習の成果物などを地域に一軒ずつ配って回することでコミュニケーションの機会が生まれ、話す力の育成に繋がる。地域に向けて発信するというねらいをもって学習に取り組むことで児童に「相手意識」が生まれ「書く力の育成」にも繋がる。

＜心の部会＞

テーマ

行事で、たくましい子どもを育むために、学校・家庭・地域が工夫協力できることは。

課題 地域の方と触れあう時間や行事を行う上での時間の確保が難しい。

新たな取組案

今後も地域の人と触れ合う機会を確保したい。オリンピック・パラリンピック開催を契機に、障がいがある人もお年寄りでもできるポッチャを購入し、実施できないだろうか。



熟議

来年度に向けて

熟議や、学校評価アンケートから得られた成果・改善点を踏まえて、内容によっては早速、教育活動や学校運営に生かしている。今後さらに地域とともに児童の「ふるさとを愛する心」「読解力」「自己効力感」「一人で学べる力」の育成や醸成を図っていきたい。

地域を愛し地域の方々のために尽くす志を育てたい。

そんな願いを込めた

生徒の自発的な地域貢献活動及び地域の活性化を後押ししています。

下関市立吉見中学校

学校運営協議会について

①委員の構成

12名（自治連合会長、吉見支所長、校区自治会副会長、水産大学校教授、県議会議員吉見中ふるさと協育ネット会長、民生児童委員長、小学校区代表、現PTA会長）

②実施回数 定期3回

③主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針（4月）の承認。綱紀保持委員会も含む
- ・ふるさと協育ネットでの取組について
- ・前期学校評価（7月）並びに後期学校評価（1月）
- ・来年度の学校運営について

特色ある活動

◆地域の支える学校（生徒・園児・児童の教育への支援活動）

①花一輪運動（花心）

月1回保護者・地域の方が花を持ち寄り、生徒と共に花を生け、各学級や廊下に飾っている。卒業生の保護者を中心に地域の活動として定着している。

②高校受験に向けて面接指導

3年生に対し、学校運営協議会委員が面接指導を行った。生徒は緊張感のある面接を体験し、面接官である学校運営協議会の方々は、中学生の意見や考えや彼らの真剣な姿に触れることで、生徒や学校への理解が深まった。

◆地域を支える学校（生徒・学校が地域の活性化・安全に貢献する活動）

①まちづくり協議会との協働による「地域活性化」に向けての取組

地域から依頼を受け、校区の無人駅を盛り上げるイベントや、地域の花壇づくり、夏祭りに生徒がボランティアで参加した。行事によっては生徒が企画から参画しており、地域の担い手として期待されている。

②子供と大人の地域合同津波避難訓練

今年で8回目。校区内の全園児・児童・生徒と地域の方の合同避難訓練。消防分団や見守り隊、自衛隊下関基地隊や北消防署、下関警察署、水産大学校などの本格的支援を受け、3つの避難場所に合計約400名が訓練集合。

③ふれあい給食会

毎学期、各地域の長寿会や地域ボランティアの方々等をお招きして、生徒と共に給食を食べる会を開催した。心のふれあいの場の設定。



来年度に向けて

本年度、地域ネットワークの実効性を高めるため、ふるさと協育ネットの組織改編や、行事の見直し、CSとの役割分担の明確化等を図った。